

日野市

問13

2～3年程度にわたる長期避難が終了した後、あなたは荒川区に戻るとお考えですか？その理由を教えてください。

注：[] 内は調査者による補足

[必ず戻る・おそらく戻るだろう]

■自宅、土地等を所有しているから

- ・ 持ち家があるため。
- ・ 他の場所は思いつかないため自宅のある日野市に戻らざるを得ない（ローンも残っている）。
- ・ 持ち家があるので、家の修繕などの対応を取る必要があると思われるから。
- ・ 自分の土地があり、生活基盤がここにあるから。
- ・ 土地、家を所有している。親類が日野市ではないが比較的近い所に住んでいる。
- ・ マンションは残っていると思う。
- ・ 所有する土地があるから。
- ・ 自分の家があるから、共働きで築いた生活です。
- ・ 家があるから。
- ・ 自宅だから。
- ・ 家がある。
- ・ 自分の土地だから。
- ・ 家族の持家があるため。
- ・ 土地がある。生活拠点だから。
- ・ 自宅があるから。他県に親せきがないため。
- ・ 自宅で生活したい。
- ・ 持ち家があり、また日野市に住むことを希望するため。
- ・ 持ち家があるから。
- ・ 土地、家屋があるため。
- ・ 土地が残るし、会社があるから。
- ・ 家があれば、ローンが残っているため。
- ・ 所有する土地があるから。
- ・ 自宅・不動産があるから。
- ・ 土地があるため。
- ・ 自宅があるから。
- ・ 家がなくなっても 土地があるかもしれないため。

- ・ 家があり、馴染みがある。知人も多い。
- ・ 自宅があるから。
- ・ 家があるから。
- ・ 家があること。長年住んでいて慣れている。戻るのに、物理的な障害がない場合ではあるが。
- ・ 現在の建物が震度7でも耐えると言われていました。
- ・ 自宅がある。
- ・ 家と仕事場があるので。
- ・ 日野市内に持ち家があるため。信頼する人たちがいるため。土地環境について馴染んでいるため。
- ・ 土地を所有しているので。ただし、夫の仕事が日野市から通えること、子どものその時の進学状況により、他に移ることも考える。夫も私も子どもの頃から慣れ親しんだ土地というわけではないので、それ以外には必ず戻るといふほどの理由がないから。
- ・ 土地、友人。
- ・ 所有する土地があるから。
- ・ 土地がある。長年、日野市に住んでいるから。
- ・ 建物が倒壊しても土地は残ると思われる。したがって、国の施策により、低金利ローンを創設し、現地再建をするつもりである。
- ・ 所有している不動産があり、愛着があるから。日野市で生まれ育ち、両親も日野市内に在住しているから。
- ・ 持ち家があるので、戻れる状態になれば戻る。
- ・ 家があるから。
- ・ 自宅があるから。
- ・ やはり自分で購入した我が家には戻りたい。
- ・ 持ち家のためと、家族が近くに住んでいるので。また、会社が近いため。
- ・ 住宅（土地）の存在。
- ・ 土地、家屋があるから。
- ・ 家、土地があるから。
- ・ 土地と家、職場があるため。
- ・ 自宅のある場所。
- ・ 自宅以外の不動産を所有しているので。
- ・ ①住みなれた自宅があるから。②親しい隣人と友人がいるから。
- ・ 小さい家なら建てられるだろう。
- ・ 持ち家があるから。
- ・ 土地があるから（ローンをかかえながら更に他へ住む事は難しいと思う）。
- ・ 持ち家だから。
- ・ 自分の土地のため。
- ・ 自分の家程安住できる場所は外にないから。
- ・ 自分の家・土地があること。電車（主に中央線）が復旧すれば便利で住みやすいところですよ。

- ・ 家と土地があるから。
- ・ 自宅のある場所に戻りたい。
- ・ 現在一戸建て（土地付）に住んでいるので、全員（4人）で戻ることがなくても夫婦二人は戻ると思います。
- ・ 家が持ち家だということが一番ですが住みはじめて知り合った人々といっしょに生活したいからです。
- ・ 家があるから。
- ・ 住居があるため。
- ・ 自分の所有する土地（自宅）がある限り、住み慣れた場所に戻りたい。
- ・ 土地も家も今はあります。他に移る事はないと思っております。近くに兄弟もおります。他にはだれもいないので。
- ・ 家と仕事があるから。
- ・ 自宅があるから。
- ・ 所有している土地、家屋があるから。住める状態ならそこで生活したい。
- ・ 持ち家があるから。
- ・ 家があるから。
- ・ 持ち家があるので、とりあえず戻り、主人の仕事などの状況により考えることになると思う（ちょうどその頃に子どもたちも社会人になり独立していくころなので）。
- ・ そこに、土地、家があるから！
- ・ 30年以上、住んだ土地がある。
- ・ 家がある。
- ・ 家があるから。
- ・ 所有する家や主人の仕事継続のため。
- ・ 土地、家屋を所有している。しかし、これらを手放して他所に住むことを拒否しない。
- ・ 日野市がどのような状況になっているのかにもよりますが、自宅が住める状態であれば、戻る他ないと思う。
- ・ 親の代からの居住地（持ち家）。自身も家族も日野を気に入っている。金銭的にも他に行く余裕はない。
- ・ 持ち家があるから！
- ・ すべての生活の基盤がここにあるから。一から創り上げるにはものすごく労力を必要とするので…。
- ・ 自分の家がある。子どもたちの生活がある。
- ・ ローンもまだ残っているので、他の土地を買うことはできない。実家から通勤することは難しい。
- ・ 持ち家（土地）だから。
- ・ 土地があるから。
- ・ 年内に家を購入する予定のため。
- ・ 自分が選んだ土地です。
- ・ 日野が好きであり、親から継いだ土地を放ってはおけない気がする。
- ・ 所有する土地、賃貸住宅を所有しているので。

- ・ 持ち家（土地）があるので。
- ・ 持ち家なので。
- ・ 持ち家があるので、住める状態であれば戻ることを考えたい。ただし、子どものことがあるので、住めても学校が再開されるまでは戻らない。
- ・ 自分の土地だから。
- ・ 二世帯での持ち家があるので戻るしかないとは今は考えております。
- ・ 土地があるから。
- ・ 自宅があるから。家族がいるから。
- ・ 家があるから。
- ・ 家があるから。
- ・ 所有の土地があるためそこで生活したいと思う。
- ・ 土地・家があるから。住めない状態の時は処分して代替りの場所を探す。
- ・ 自宅がある。
- ・ 間12-7にあてはまるため。
- ・ 自分の土地がある事。日野が気に入っている。
- ・ 約40年間、暮した慣れ親しんだ場所である。自宅がある。
- ・ 土地および家屋があるから。
- ・ 自宅があるから。
- ・ 我が家だから。日野が好きだから。
- ・ 自分の土地がありできれば再築したい。
- ・ 家屋があるから。土地。
- ・ 所有地があるため。
- ・ 自分の家があるため。
- ・ 持家があるためです。家や土地がなくなっていたら戻りません。
- ・ 土地があるから。
- ・ 1年半前に土地を買い家を建てたので。
- ・ 自宅だから。理由はない。
- ・ 家があるとしたら戻るし、ローンはあるので家が壊れていても住むしかない。
- ・ 自宅があるし、他の地域へ移住する理由が今のところないため。
- ・ 私有地があるから。
- ・ 所有する自宅の管理の問題。
- ・ 自宅があるから。
- ・ 自家、土地を所有しており、家族の生活基盤があるため。
- ・ 持ち家があり、建替の不可の判断しだいであるが戻る事を前提とする。
- ・ 自宅があるため。
- ・ 自分の家があるのでその他の場所に住むことが思いつかない。実家も日野市内にあり持ち家であるため。
- ・ 持ち家があるから。住みなれた家と環境、隣人のいるところの方が両親にとってはよいので。
- ・ 購入したばかりの家だし、この土地がとても気に入っているから。

- ・ 土地を所有しているため（売れば別だが）。
- ・ 自宅がある。お墓がある。親類が住んでいる。
- ・ 自宅があるので。
- ・ 現在のマンションが持ち家であるため。
- ・ 持家を持っているから。
- ・ 個人が所有する土地があるから。
- ・ 持家があるから。
- ・ 自分の土地と家だから戻る。
- ・ 自宅があるから…。
- ・ 住宅。
- ・ 自分たちの土地がある。娘がいるため。
- ・ 持家の場所だから。
- ・ 持ち家ゆえ。
- ・ 土地、家があるから。
- ・ 家があるから。
- ・ 土地、建築中の自宅があるため。
- ・ 家があるから。
- ・ 自分の家があるから。
- ・ 家と土地があるため。
- ・ 現在の生活が不動産管理を含めて全てが日野市にあるので。
- ・ 自宅があるため。
- ・ 生まれ育った町、また土地を所有。
- ・ 家屋用土地があり、子どもや孫がいるため。
- ・ 私どもが所有する、土地、家が現住所しかないため、親類等たよれる状態でもないため。
- ・ 土地があるから。
- ・ 所有の土地や仕事があるので。
- ・ 自宅がある。
- ・ 家がこわれても土地があるかぎり、戻ってくると思います。
- ・ 持ち家があるから。
- ・ 自宅があるから。
- ・ 家、土地、親族、親戚、知人などあり現在は戻ると思われる。
- ・ 家があるから（家の状態にもよるが）。
- ・ 土地などの財産、親族とのつながり、人間関係など生活の全てがあるため。
- ・ 自分の土地があるため。
- ・ 自分の土地があるから。
- ・ 土地を所有しているから。
- ・ 持家（マンション）があるので（住めることが前提ではあるが）。
- ・ 自宅は新築したばかりで愛着がある。

■住み慣れた地域であるから、愛着があるから

- ・ 長く居住して、友人も多く、住みやすい。
- ・ 愛着がある。
- ・ なれている。様子の想像がつかないが、勝手にきくかなと思う。
- ・ 特段現住所に執着はないものの永年の”生活基盤”ということでそうならざるを得ないと思っている。
- ・ 住み馴れた土地に戻って生活したい。土地があるため。
- ・ 住みなれた土地だから。
- ・ 長期間住み馴れた場所に戻りたい。
- ・ 好きだから（住み馴れている場所が）。
- ・ 長年（25年）住み慣れた所だから。
- ・ 日野市は40年以上生活して居る場所ですし、仕事、住居総てが日野市にありますのでおそらくまた戻るだろうと思います。
- ・ 日野市を好きだから。
- ・ 愛着がある。
- ・ 住み慣れている。
- ・ 長年住んで来た土地だから。
- ・ 日野市が好きだから。
- ・ 現環境に慣れ親しんでいるため。
- ・ 日野市、三沢が大好きだからです。町内会の方々がいい人たちばかりだからです。その他、いい所が沢山あります。そのため②を選びました。
- ・ 住み慣れた場所のため。
- ・ 住み慣れているから。職場も日野市だから。
- ・ 住み慣れているので。
- ・ 住みなれところがよい。
- ・ 住み慣れているから。
- ・ 今、住んでいる持家と土地、環境に思い入れがあるため（この場所がとても気に入っている）。
- ・ 長くここ多摩市で暮らしていて（43年ほど）とても好きな場所ですのでまたここにもどって来たいと願っています。
- ・ 家族が日野を愛しており、戻ることを希望すると思う。
- ・ たぶん家（現在住んでいる団地）があるだろうから、できるものなら、住み慣れた場所で生活したいから。
- ・ 長年住みなれたところですので。
- ・ 日野市または多摩地域が好きだから。
- ・ 30年以上住んでいるので住み慣れている。
- ・ 終の棲家と定めて住みはじめ、とても気に入っている土地なので他は考えられない。経済的に新たな土地家屋を得ることは難しい。
- ・ 人生の大半を、この地で過ごしているため。
- ・ 住みなれた土地だから。友だちも多いし。

- ・今のところを終のすみ家と考えている。
- ・この地域が好きだから。両親が近隣に住んでいるから。
- ・住み慣れているから。
- ・日野市が好きだから。
- ・今、住んでいる日野市は50年以上住んでいる程気に入っている場所です。一戸建てからマンションに移り住む程気に入っている町です！！
- ・長年住み慣れている土地だから。
- ・住み慣れているので。
- ・長年住みなれたところだから。
- ・すべてにおいて、慣れた土地の方が安心して生活できる。
- ・長い間、住み慣れたところだから。
- ・長年住みなれたところが知人友人もいるので安心できると思います。
- ・思い出が多いから。
- ・住み慣れているから。
- ・高校卒業までをすごした故郷の風土に似ており、親しみがありません。
- ・慣れた土地であり、住みやすいことが一番の理由です。
- ・長年（20年以上）住み慣れた市である。
- ・住みなれている。親しくしている人がいる。
- ・長年住みなれたところで、年齢も高いので、今更、新しいところへ住むつもりはありません。
- ・長年住んでいること。環境がよいこと。友人、知人がいること。
- ・昭和56年に日野市に転入して来てから今まで住んでいたのが大よその状況が分かるから。
- ・住み慣れた場所だから。
- ・生活拠点が日野市であるから。ただし、今までと同じ生活ができる保障がいただける事が必要である事が一番だと思う
- ・今まで住み慣れた場所であるため、住めるようになるのであれば戻ると思います。
- ・頼れる人がいないし、長年住んできた土地だから。
- ・長年住み慣れているので、暮らしやすい。
- ・住みなれたところ。
- ・住みなれた土地なので、ここがよいと考えています。
- ・行くところが見当たらない、やはり長年住んで日野市に愛着がある。
- ・この地での生活基盤を確立する第1歩を踏み始めたばかりだが、この地が気に入りました。
- ・長年住んでいるので、勝手がわかる。
- ・住み慣れた所だから。
- ・住みなれた土地だから。
- ・住みなれているから。
- ・住み慣れた場所。
- ・家が合った場所で長期住んでいた場所だろうから。

- ・ 日野市が好きだから。
- ・ 結婚と同時に、現在地に居住し49年経過、やはり思い出がありおそらく戻るだろうと思います。ただ、環境の変化、自然災害の発生等なんとも言えない。
- ・ 生活の拠点だから。
- ・ 慣れ親しんだ場所。
- ・ 住みなれた土地だから。
- ・ 長年、住み慣れた場所、愛着、思い出がいっぱい。
- ・ 長年住んでいる所なので、できれば戻りたいと思う。が、その時にならないとわからないとも思う。
- ・ 住み慣れているから。
- ・ やっと住みなれた場所であり、日野市は住み心地のよいところなので。
- ・ 慣れた土地に戻り、近隣の方々と気楽に過ごしたい。
- ・ 長年生活をしてきたので同じ日野に帰ることができればそれにこしたことはないと思います。
- ・ 地球在籍者として最後の住所だから。
- ・ 後期高齢者なので、家の再建はできないと思う適当な施設を探す等、落ち着き先を決めなくてはならない。その時、住みなれた地域を優先すると思う。
- ・ 住み慣れた所だから。
- ・ 馴染みのある場所だから。
- ・ 住みなれた所がよいから。
- ・ 住みなれていて、近くに友だちもいるので。
- ・ 落ち着くところだから。
- ・ 長年住んでいたため。
- ・ 長年住みなれた場所だから。
- ・ 慣れ親しんだ地域だから。
- ・ 40年以上住みなれた土地を終の住みかになりたいと思っているので。日野の町が好きです。
- ・ 20年余り住みなれた土地だから。
- ・ 復旧が遅れていようが地元の土地で生活するのが最も心が落ち着く。
- ・ 生活環境の慣れがある。
- ・ 住みやすい町だから。
- ・ 長年住み慣れた土地だから。
- ・ 50年以上住んでいたの。
- ・ 大きなこだわりはないが、住みなれた土地であり、戻ることが可能なら戻るだろうと思う。趣味のグループの仲間もいるので。
- ・ 長年住みなれた場所であるため。
- ・ 住みなれた地域を離れるのはさみしい。親戚が日野市内にあるから。
- ・ 長年住みなれた自宅なので。
- ・ 慣れ親しんだ土地で生活したいから。
- ・ 長い間生活の根拠にしてきた場所だから。

- ・ 長年豊田に住んでいるから。今のところ考えられない。
 - ・ 住み慣れた場所のため。
 - ・ 住みなれているから。
 - ・ 住みなれてるから。
 - ・ 住みなれた場所で気に入っているの。
 - ・ 生活の拠点が日野市だから。主人の仕事や子どもの学校の事を放置して新地で生活し続けるのは難しいと考える。
 - ・ 特に問題もなければ、住み慣れた地で以前と同じように暮らしたいから。日野が好きなので。
 - ・ 住みやすいと思うから（長年住んでいたから）。
 - ・ 慣れ親しんでいる地域に戻って生活したいから。近所の人たちと親しくしているので、もとの生活に戻りたいから。
 - ・ ずっと住んでいるところだから。
 - ・ 住めば都！！
 - ・ 住み慣れているから。
 - ・ 日野に住んで15年以上が経ち、住みなれた街だから。
 - ・ 環境もよく住み慣れている。
 - ・ 既に日野市に生活基盤があるため。
- 住み慣れた土地だから。
- ・ 長年、住み続けようとした場所なので。
 - ・ 思い出が多く、好きな場所だから。
 - ・ 住みなれた所だから。
 - ・ 住みなれた所だから。
 - ・ 住み慣れた市であるから。
 - ・ 住みなれた土地だから。
 - ・ 時期によっては戻らない選択になるかもしれませんが、住みなれているため。また、避難もしくは選択した先の環境によると考えます。
 - ・ 現在、住みなれているの。
 - ・ 日野市に30年以上住んでいる。知人や友人がここにいるから。日野の山や川、自然が好きだ。
 - ・ 住みなれた土地（地域）だから。日野市に愛着があり、子どもたち家族もおりますので。
 - ・ 田舎より上京し50年以上住みなれた場所だから。
 - ・ 慣れた生活環境に戻ること、心身が落ちつきを取り戻すことを期待して。
 - ・ 長い間そこで生活していたから…。でも私たち年寄りには子どもたちの言う事を聞かなければなりません。

■何代にもわたって暮してきたから、墓があるから

- ・ 日野市内に先祖の寺、墓地があるため、市外に移る事は考えていません。
- ・ 自分たちのためのお墓があるから。

- ・ 家族の墓がある。
- ・ お墓がある。日野に愛着がある。
- ・ 自分の先祖からの土地がある。お墓を守らなければならないから。
- ・ 先祖代々居住している所であり、お墓もある。
- ・ 他の場所は考えられません。お墓がありますので、戻ってきたいです。
- ・ 先祖代々この土地に住んでおり墓もあるので必ず戻りたいと思います。
- ・ 結婚後、30年以上日野市に住み、それ以外の市は考えたことがない。先祖代々の守るべきものがあるから
- ・ 先祖代々住んでいるので、他所への移転を考える事ができない。
- ・ 配偶者（夫）のお墓、仏の事が気がかり。
- ・ お墓があるから。

■家族親族、友人知人等がいるから

- ・ 両親が日野市内に住んでいるため。
- ・ 家族がいるため。
- ・ 娘夫婦がそばにいるのもどろと思います。
- ・ 長年住みなれた場所。子ども、孫がいるから。
- ・ 両親は戻る事を望みそうなので。
- ・ 子どもがおりますので。
- ・ 慣れ親しんだ土地で友人も多く、主人の実家もあるため。
- ・ 知人がいる。長年の生活してきた所だから。子どもたちのふるさとだから。
- ・ 親戚は他県に住んでいます。年齢を考えると子どもたちが頼りでありできることなら我が子の目の届く範囲で生活したい思いです。娘は八王子に、息子夫婦とは同居していますがそれぞれ独立した生活でお互い何かあった時は話し合いながらですが、長期にわたる災難の場合、どのような生活が展開されてるかは想像だに思いやられますが、健康だけには気をつけ長年住み馴れた土地で余生を終りたいと思っています。
- ・ 義父母と一緒になので（2世帯）。
- ・ 友人・知人が多いから。
- ・ 子ども夫婦が在住している。現住所が住みやすいから（生活する環境が整っている）。
- ・ 日野でできた友だち、子どもの学校（できれば元の学校に戻りたい）があるから。
- ・ 家族がいるから。
- ・ 土地は残ると考え、隣接して住んでいる息子や同居の息子たちと生活を再建したい。災害でどう変わるかわからないが今（現在）の日野市の環境が気に入っているし、人生の3分の2を過ごし住み慣れてもいるし…。
- ・ 子どもたちも近隣区域にいるので戻って暮らしたいです。
- ・ 知り合いも少ないし、戻るとしたら日野市です。話し相手となる知り合いもたくさんいますので。
- ・ 「また地震が来たら…」とは思いますが、私の実家が八王子ですし土地もあるので…。
- ・ 両親との同居なので、戻ります。
- ・ 友人たちと連絡をとりあって友人たちも日野に戻ってくればいい。

- ・ 18年住んで、友だちも多いので。
- ・ 自宅の被害状態にもよるが、長年大切にしてきた隣人、グループの友だちがいる。他市を含めて周辺の地理にも詳しく行動しやすい。
- ・ 2〜3年でも一緒に生活した人たちとのつながりを大事にしたい。
- ・ 隣に長女一家五人、近くに次女一家四人が生活しており、大災害を乗り越えてまた元の生活に戻り孫五人の成長を希望しています。
- ・ 友人、知人がいる。住み慣れている。
- ・ 大切な友人、知人と再び交流をもって生活していきたいから。
- ・ 結婚した娘や孫の生活基盤が日野市にあるので、先のことを考えると子どものそばにいたい。
- ・ 家族親戚がいるので。
- ・ 長男夫婦が日野市で仕事をしているので同居すると思います。
- ・ 知人がいる場所に戻りたいから。
- ・ 友人、隣人との絆。
- ・ 住みなれた場所だから（友人・知人）。
- ・ 自然に恵まれている一方で、都心へも近くて便利なので日野市を気に入っています。長く住んでいるので土地勘もあり、友人も多いのでできれば戻ってきたいと思います。
- ・ 障害家族が日野市に関係しているから。
- ・ 兄弟姉妹一家や親戚が近隣の市に住んでいるので心強いので戻ります。
- ・ 長男の家庭が日野市であることから孫の世話もあるため。兄弟と余り交流がないので現在地に戻るしかない（兄：埼玉県・栃木県 妹：練馬区在住）。
- ・ 家族が戻ることを希望すると思うから。
- ・ 主人の実家ですので今の土地を離れるのを嫌がっているため。私自身は他に移りたいと思っていますが。
- ・ 友人、知人と社会活動をつづけたい。
- ・ 配偶者の親族が西東京に多く住んでいるから。
- ・ 医療費（子どもに必要な分）の負担や家族、親族の事を考えると、日野市だが、医療費や、親族等の条件がどこでも同じなら、日野市にはこだわらない。更に夫の仕事が継続して働けるなら職場に近いところならどこでもよく、失業してしまった場合、仕事先によって住むところも変わる可能性が高い。
- ・ 友人や知人に会いたいから。
- ・ 高幡団地に住んでいますが…自治会員の人たちはすごくよくしてくれます。（老人の事、災害の事など色々と考えて下さっているようで…）本当にいいところですので…その場になればどうなるか分かりませんが…？
- ・ 友人、知人が多い。住み馴れている。思い出が多い。緑が多い。
- ・ 自分の母がいるから。
- ・ 子ども、孫、姉妹、姉妹の子ども等、全てこちらに住んでいるため。実家はお墓があるのみ。
- ・ 親族がいるから。
- ・ 信頼している仲間と生活したい。日野が好きになったから。

- ・ 土地、仲間がいる。兄弟が日野市在住。
- ・ 父、兄も東京に住んでいるから。

■仕事のため

- ・ 実際なってみないとわかりませんが…。主人の仕事がある所で生活をする考えると日野に戻ると思います（20年日野で勤務していますが）。
- ・ 仕事が変わらず勤務地が現在と同じ場所であれば都合がよいため。仕事の勤務地が変われば戻らない場合もあり得ます。
- ・ 仕事として早急に確立できる場所と思うので戻ると思います。
- ・ 2～3年、実家へ戻っていたとしても、田舎で十分な収入や仕事を見つけられていないだろうから。
- ・ 仕事場に近いという理由で住んでいるため。
- ・ 現在の自分の仕事が再開できれば、また収入が得られると考えるため。現在の資産があるため。収入の道がある、資産の対応がされるのであれば、他の場所への移住もよい。
- ・ 夫の勤務先の関係で戻るしかないため。仮設住宅より住み慣れた所で住みたいから。
- ・ 夫の勤務が日野市含め都内なので。
- ・ 終の棲家と決めた場所だから。私と長男の勤務地を考慮して。
- ・ 勤務、仕事の関係で。
- ・ 仕事場の復帰とともに戻る。
- ・ 知人や仕業上のおつきあいの人たちがたくさん日野に住んでらっしゃるから。
- ・ 今の仕事に復帰するため。
- ・ 会社（仕事）があるため。
- ・ 仕事の面で東京在住が必要であり、かつ住み慣れたここがよいと思う。
- ・ 家族の勤務先の事により。
- ・ 職場にも近い職場の移転などがなければ当然の選択肢と考えている。
- ・ 仕事が見つかるかもしれませんので。
- ・ このまま現在の職場（日野市内）が存続するのであれば、通うのに便利なので。
- ・ 就労。
- ・ 会社や学校があるから。
- ・ 主人の会社があるから。
- ・ 都の職員であるため。
- ・ 自分はパートですが…家族の勤務先が東京なので。
- ・ 現在日野市にある職場がどうなっているかにもよるが職場が残っていれば戻ると思う。
- ・ 勤務先が日野にあるため。
- ・ 長期避難がどのくらいかはわからないが今、勤めている会社に戻る事を前提に考えている。
- ・ 仕事があるため、家・土地があるため。
- ・ 仕事の都合、住み慣れた土地である。

- ・ 日野市内で勤務、ボランティア活動をしているため。
- ・ 自分や主人の仕事や子どもたちの学校のことを考えると戻ると思います。
- ・ 仕事上の都合があるので。
- ・ 市内で会社を経営しているため。
- ・ 現在の仕事の都合や、友人等が都内に住んでいることもあり、生活の中心が日野市となっているので。
- ・ 職場、かかりつけの病院。
- ・ 職場も日野市内にあるため。
- ・ 仕事が日野市である事。持ち家である事から。

■ 自分・子どもの教育のため

- ・ 大学の近くに住みたいから。
- ・ 子どもの転校を避けるため。
- ・ 同じ大学に所属する予定で、図書館の資料は都内にしか多くないので。
- ・ 子どもの学校や持ち家が心配なため。

■ ふるさとだから

- ・ 生まれ育った場所であること。日野市栄町は災害に強い地域であり、必ず戻れると思います。
- ・ 第二のふるさとである。
- ・ 生まれ育った土地で友人知人も多いから。
- ・ 生まれ育った所だから。
- ・ 生まれてきてからほぼずっと日野で育っているため、愛着があるから。家族が戻ると言うと思うから。
- ・ 生まれ育った場所。
- ・ 私が生まれ育った土地であるから愛着がある。先祖代々のお墓もあるし、大好きな里山の緑も大切に守っていきたい。それを残してゆきたい。お世話になった人（隣人）親戚や友人たちとまた一緒に平和な生活が戻ることを望んでいる。
- ・ [夫婦の] お互いの両親も日野市在住で、子どものときから住んでいるから安全なら戻ると思う。
- ・ 生まれ育った故郷である。
- ・ 本籍地だから。
- ・ 転居しても日野市内で、生まれた時からずっと日野なのでとても愛着があるため。
- ・ やはり自分の生まれ育ったところに帰りたい。
- ・ 一番長く生活してきた市なので。
- ・ 日野の生まれなので、やはり、他に行くことは考えられない。
- ・ 夫がずっと生活してきた場所なので、できれば戻りたいと思う。自分の実家は東日本大震災で被災してしまい、両親は都内になんとか中古マンションを購入し生活の再建をしようとしていたが、家を含めた全てを失った喪失感が強く、震災から3年たった今年、父が自殺をしてしまったので、なるべくなら失ってしまったものをなんとか取

り戻して、震災前と同じような生活ができれば、と思う。

- ・ 40年以上の住まいと人間関係は、心の支えです。
- ・ 戦争で生家は全焼、疎開、疎開で小学生時代5回の転校、父の転職もあり生れた土地からは離れ私に”ふるさと”はありません。今は日野市（結婚し、子どもを育て、仕事をし、母の介護をし、よき友人と出会ったところ）こそ、私のふるさと、だからここしか戻るところはありません。
- ・ 自分の生まれた場所であり、弟もいる。
- ・ 好きな土地ですし、育った土地なので。
- ・ 生まれも育ちも日野市なのでたぶんどこに行っても最終的には日野市に戻ってくるのではないかと思う。
- ・ 50年以上住んでいる。
- ・ 自分の生まれた家があるから。
- ・ ずっとこの地で（産まれて育ってきたとこだから）。
- ・ ずっと日野で育ち、日野が好きだから。通勤などの面を見ても通いやすいから。
- ・ 生まれた土地。
- ・ 生まれ育った場所なので。
- ・ 人生の半分を過ごした土地であり、子育てをし、独立させた故郷となっている。
- ・ 日野市で生まれ、守る事が色々あるため、また近隣の人たちとの交流があるため。
- ・ 日野は生まれ育った場所で、のんびりとユートリした雰囲気が気に入っています。
- ・ 産まれ育った思い出の土地なので。
- ・ 生まれ育った場所だから。
- ・ 自分が育った家、住み慣れた土地があるから。ここに暮らし続けたいと思っている。
- ・ 地元だから。
- ・ 生まれ育った場所だから。
- ・ ここで生まれて育ったので他の暮らしは想像できませんからです。
- ・ 生まれ育ったところなので、日野が好きだから。
- ・ 日野市が好きだから。
- ・ 生まれ育った所、よい住みごちである。
- ・ 生まれ育った土地だから。
- ・ 生まれ育ったところで、他の土地で暮らしたことがないので、特別な理由や状況が生じない限り、戻らと思う。
- ・ 地元だからです。
- ・ 生まれ育った場所だから。

■子どもにとってふるさとだから

- ・ 子どもたちが生まれ、育った場所を離れるのはかわいそうに思えるから（友だち関係等）。
- ・ 子どもにとっては生まれ育った場所だから。
- ・ 子どもが戻りたがると思います。

■住みやすさ、環境のよさ

- ・ 住みやすい所。近所に知り合いも多いから。
- ・ 日野市は緑が多く、環境もよい。住みやすいです。
- ・ 日野市は環境がよいので。
- ・ 生活環境が気に入っており、東京に住むなら、日野市と考えている。
- ・ 今の住まい、地域を気に入っているから。
- ・ 暮らしやすさ。
- ・ 住みやすい町だから。
- ・ 家が崖上にあるため、大きな損傷がない限り、他には行きたくない。仕方なければ、都内の実家、子どもの家に行くしかないと思う。
- ・ 住みよいから。
- ・ 住環境として大変よいところだと感じています。
- ・ 住みやすいから。
- ・ 生活環境がよいから。友人が多いから。
- ・ 自然の多い環境。
- ・ 現在の日野市は清流や緑も多く、住みやすい街だと思っているため。
- ・ 今現在住んでいるところの環境が気に入っているから。
- ・ 住みやすいから。
- ・ 便利なわりに都会過ぎず生活しやすい。
- ・ 実家のある田舎より日野の暮らしの方が老人（自分）の生活に便利。
- ・ 住みよく、安全で 愛着がある。
- ・ 便利だから。
- ・ とても住みよい所だからです。
- ・ 今現在で言ったらとても環境がよいので戻れたらと思う。生活していくうえで必要な役所、学校、スーパー、薬局 銀行、郵便局等ありながら繁華街ではないので、また近所とも程よくお付き合いもできているので。
- ・ 現環境に満足しているから。
- ・ 暮らしやすいから。知人も多い。
- ・ とても住みやすいので。
- ・ 子どもも夫も住みなれている場所で友人、知人が多くいるため。
- ・ 日野市の暮らし易さが気に入っている。・行政サービス ・都心からの距離（アクセス） ・自然 ・豊田駅周辺の利便性。
- ・ 日野市の環境のよさ。長期に暮らした安心感。
- ・ いろいろな面で生活がしやすい。・中央線が通っている ・買物 ・学校 ・病院。
- ・ ” 緑と清流 ” のキャッチフレーズどおりに、住環境としては満足しているので、災害による環境の激変（悪化）がなければ戻りたい。
- ・ 生活の基盤だから、今の生活環境がよいから。
- ・ 住みやすさ。
- ・ 自然にも恵まれ、都心からは遠いが交通が便利なので、京王線、JR、モノレール、バスもだんだん本数が増えてきた。

- ・ 現時点で環境に恵まれているから。
- ・ 住み慣れた場所だから。
- ・ 住み慣れた地域で愛着があるから。公共機関の様子もわかるから。
- ・ 住みやすいところだからです。
- ・ 住環境としては最適な場所だから。
- ・ 市内に職があり、知人、友人も多い。日野は八王子や立川と比べると地味だが生活するにはなかなかよい。騒がしくなく好ましい。
- ・ 日野、立川あたりで住みつけたいから。理由：自然豊かで、都内に車や電車にて出るのも便利、郊外に出るのも便利。都市機能も便利だから。
- ・ 今の住環境が気に入っているから。
- ・ いろいろな面でとても暮らしやすい。
- ・ 安全か確認できれば、住みよい地域であるから。
- ・ 住みやすいから。
- ・ 日野市は住みよい町だから。
- ・ 日野市の自然環境が好きだから。
- ・ 住みやすいから。
- ・ 自然が残り、住む慣れた所であるので。前提条件：健康状態が現状維持であれば。

■ 日野市に永住するつもりだから

- ・ 永住地に決めている。
- ・ 戻ることができない状態でない限り必ず戻る。
- ・ ここで暮らそうと引越してきたのだから、他に行く事は考えてないから。
- ・ 終のすみかと思って暮しているから（子ども宅の生活を乱したくない）。
- ・ 国鉄・JR 勤務。日野市へ住居を持つことを決定したため。

■ 他の地域で暮したことがない、他の地域での生活は不安

- ・ 日野市に 40 年住んでいるため、他に住めない。
- ・ 小心者なмонで。
- ・ 他に生活していく場所がない。なじみのない土地で新しく隣人関係を築いていく自信がない。
- ・ 日野以外住んだことがないし、友人、知人も多いため。
- ・ 日野市以外に住んだことがないので、他に住むとなると不安。（友人）別離。
- ・ 「井の中の蛙で」他の土地で暮した事ありません。何もかも新しい生活は多分精神的に無理です。「住めば都」不便な事があってもこの場所がよいです。
- ・ 他府県で新しい生活を築ける見込みがない。
- ・ 年齢的な事、健康問題、金銭的な事。

■ 地域再建に貢献したいから

- ・ 日野が私の命を救ってくれて税金を払い恩返ししたいから。
- ・ 生物学的に問題がなければ故郷の復興に貢献したい。

■街が復興するだろうから

- ・ 壊滅するほどの大被害で地域活動が戻らないことはないと思っているので、本来、住みやすい日野に戻りたい。
- ・ 都会の方が復興が早いと思う。

■他に住むところがないから

- ・ 日野市以外に、どこというあてがないため。
- ・ 外に行く所がない。
- ・ 他にあてもないし土地勘の問題。もちろん隣接する他の市も候補にはする。
- ・ 他に行く所がない。
- ・ 他に行く予定がない。
- ・ 日野市以外に行く所がないから。
- ・ 他に行くところなし。
- ・ 他に行く場所がない。
- ・ 今住んでいる所しか行く場所がないため。
- ・ 他に戻る場所が思い出せない。
- ・ 他に、よい場所を思いつかない。
- ・ そこしか行くところがない。
- ・ 他の方法がないため。
- ・ 外に心当たりがない。
- ・ 現状の日野市では公害等は考えられず（福島県原発問題等）、また新しい土地購入等年齢から考えても不可能な状況であり日野市に戻らざるを得ない。
- ・ 80歳近くになって、環境の異なる新天地に住むことは心が痛む。
- ・ 避難先の見通し、見当がなく戻るしかない。
- ・ 他にあてがない。
- ・ この場所にしか行くところがないため！
- ・ 他に行くあてがない。
- ・ 他に戻る場所はない。
- ・ 地震で土地が使用できなくなった以外はもどってくる（他に行く所なし）。
- ・ 主人は4人兄弟の長男で長く日野で生活をしていますが、頼る親戚と言っても、頼りになるような人はいません。
- ・ 戻る場所がないから自宅へ帰る。
- ・ 日野市以外は考えられない。
- ・ 他に戻る場所がない。
- ・ 他に行く所がありません。現状に満足しているから。
- ・ 生活場所は今現在住んでいる場所。他に行くところなし。
- ・ 他に帰るところがないので。
- ・ 他に行くところ（心当たり）が特にない。
- ・ 行く場所がないため。

- ・ 他に行く場所がない。
- ・ どこにも行くところがない。
- ・ 他に行く場所が思いつかない。通勤にも便利なため。
- ・ 姉妹ともに今まで住んでいた住居を処分してここに移ったので他に行くところがない。
- ・ 他に行くべきところなし、子どもに従うのみ。
- ・ 他にあてがない。
- ・ 他に戻る所もない。
- ・ 他に行く所がないと思うのでやっぱり家があったところに戻ると思います。
- ・ 他に住もうと思う所はないから…。
- ・ 避難先の親族に負担をかけることはできない。自宅での生活再建を目指す。

■復興の状況、自分の状況によって判断する

- ・ 家の状況にもよる。住めるようなら戻るが、住める状態ではない場合、東京都内にある他の家へ行く。
- ・ 2か3どちらか迷います。現時点ではわかりません。日野市の市政に魅力は感じないものの、現在の仕事には魅力を感じているので…。災害時の市の”対応次第”のような気がします…。
- ・ 仕事があれば戻るが職場も復帰しなければ戻ることはない。
- ・ マンションが残っていれば戻って来ようと思います。なぜなら夫が東京出身であることと、東京が大好きな夫を最後まで東京に住まわせてやりたい。
- ・ 家、土地、仕事の状況による。
- ・ 必ずと言えるだけのメリットがあるかどうか。このまちが好きではあるが、長期避難後に戻ってくる魅力がそのとき感じられるか不安である。
- ・ 家が住める状態になれば戻りたい。
- ・ 職場があるため、仕事に復帰できる場合に戻ると思う。
- ・ 仕事によると思います。現在も転職により100km近く実家より離れたこちらに引越してきたので、特に土地、友人などへの未練もありません。
- ・ 建物が生活できる状態であれば、戻りたい。
- ・ 原発などの健康被害がなければ戻るであろう。
- ・ 健康状態を考え長女の自宅近くに1年半前に家を買いかえた。その時点で子どもたちと相談すると思う。
- ・ 夫と母がいっしょなら戻ると思います。ひとりになったら考えます。
- ・ 子どもの学校の様子で話はかわってくるかな？と思います。
- ・ 破壊の状況により決める。
- ・ 通勤環境によると思うが、妻の実家に近く通勤しやすければ戻るだろう。
- ・ 障害もなく自力で生活が維持できる間は、自宅に戻りたいと思います。
- ・ 家屋に深刻なダメージがなければ戻ると思います。
- ・ 今の自宅が損壊し、居住できない場合は、日野市に戻るかどうかはわかりません。
- ・ 現マンションが住めるようであれば戻りたいが、そうでないのであれば、また他に居

住地を探すと思う。

- ・ 所有地に家を建てなおす事ができない場合は他県での生活も考える必要がある。
- ・ 持家と勤務先の状況によるが、一旦は戻ることを考えると思う。
- ・ 家族の勤務先の状況による。会社が元のままなら、戻ると思う。
- ・ その時になってみないとわからないので、戻るかもしれないし戻らないかもしれない。住みやすい所だったら。
- ・ その時の状況による。
- ・ 家が住めれば戻る。
- ・ 戻れる状態であるならば戻りたい。他所での生活は現時点では考えられない。
- ・ 住まいが持家であれば、おそらく戻ると思うが被害状況等によっては、他の場所に移るかもしれない。
- ・ 自宅が住める状態であれば戻る。ただし、自宅が焼失または全壊した場合は借家をする。
- ・ 日野市に戻りたく思っておりますが、家屋が倒壊等で使えなくなった場合、再建するメドがたつか否かによって変わってくると思います。
- ・ 住む所があれば、そこに住みますが、住む所がなければ違うところ、住めるところを探すと思います。
- ・ 2～3年の間避難先で人間関係もうまく行き、収入もあるとしたら戻りたい気持ちがあってもそのまま残るかもと思います。
- ・ 生きていければの話。
- ・ インフラが復旧し、自宅が損壊していなければという前提。
- ・ ただし家族との同居がある場合。他に行くあてなし。
- ・ 自分の健康状態や家に再び住めるかどうかによると思います。
- ・ その時点の状況による判断をする。
- ・ その時の日野市の復興状態しだい（主に住居、交通、ガス、水道、電気の利便性）。その時「東京」が日本の中でどういうポジションになっているか（仕事の為）。
- ・ 勤務する会社の状況、家の被災状況にもよる。
- ・ 賃貸物件がまだ存続していれば、住みたいから。新たに引越等は大変だから。
- ・ 状況の確認等。
- ・ 自然の環境がこれ以上悪くならないという想定の中での考え。
- ・ その時の状況によって。親族もふくめて。

■その他

- ・ その状況にならなければ想像もできない。
- ・ 現時点では分かりません。
- ・ まったく分かりません。その時の家族の状況もあるので、自分の家がなくなってしまった状態なら、もどらないかも。
- ・ 山荘は冬場は寒いので。
- ・ ア. 回答者は、軸足を出身地に移し、山梨県東部を中心に暮らし、墓守りなどをする。
- ・ イ. 妻は日野市に友だちもたくさんあるので、日野市内居住に戻るだろう。ウ. 回答者

も、援農ボランティアや雑木林ボランティアなどで、日野市内の活動に関わっていくだろう。エ.したがって、2地域居住となるだろう。

- ・ 後々の諸手続き等のことを考えると住民票のある日野市に戻ったほうがいいため(いずれにせよ、その事態の当事者にならないと判断できないし状況によって考え、行動が変わると思う)。
- ・ 日野市民だから。
- ・ なんとなく。
- ・ 条件によって異なります。自宅の再建が現実的(ローン等)であり、夫の現在の勤務先が再開して、ほぼ同条件で勤務できれば日野市に戻ると思います。自宅の再建が不可能であれば、ダウンシフターになっても避難先での生活を続けると思います。
- ・ 健康状態にもよるが戻りたい。
- ・ ”わからない”という答えの設定がなかったため②にした。2~3年の変化により、答えは流動的になると思われる。現時点では全くわからない。
- ・ 日野市に引っ越したから。
- ・ 噴火の灰被害、放射能など体に害を及ぼすような場合は戻らないが、この場所はそのような状況にならないので、家が壊れたら、まずはテント生活をする。
- ・ 実家がない。
- ・ 今現在の気持ちとしては他の所に移住する気持ちはない。
- ・ 理由は別にありませんが。
- ・ 明確な理由はない。
- ・ 避難生活前の元の生活に戻りたい。
- ・ 自宅の地震による壊れ具合によるが、日野市に戻りたいと思う。
- ・ 自宅の家を片付けないとダメじゃないですかね。責任をはたす。それから他をあたるかな。
- ・ 1人生活なのでおそらく戻るだろう 73才なので。
- ・ 長男次男の家族が居るから?23区にいる。
- ・ 夫婦ともに近畿出身のため親との同居になるだろうから。
- ・ その時の状態によりますが、戻りたいと思います。
- ・ すみません分かりません。戻ることでの設定で…。
- ・ 都営住宅住まいなので。
- ・ 血液透析治療はあちこちで行なわれておりますが腹膜透析治療は限定されるからです。

[おそらく戻らないだろう・絶対に戻らない]

■もともと定住するつもりはない

- ・ 日野市に定住する必要がないため。
- ・ 上記の理由により [日野市での] 将来の生活が全く良好になると期待できないため。
- ・ 独身の息子に介護等をさせられないし(職業的にも忙しい)、埼玉県川口市在住の従妹の近くのマンションか老人ホームに入居したいと思っています。

- ・ 日野市に今住んでいる理由は、両親の持ち家(部屋)を安く借りることができている、という理由のみで、それがなくなれば住む理由がないため。震災が起こらなくとも近々出ようと考えているため。
- ・ 地元じゃないから。
- ・ 仕事も親族もない。
- ・ 正直、今の住居以外で日野に住もうと思わない。
- ・ 特段の土地や地域への思い入れがない。長期避難先での生活になじめば、そこでの生活に切り換えと思う。
- ・ 健康状態を考えて早めに住居を定めようと思う。
- ・ 環境が変わったので住みたいと思いません。
- ・ もともと●が多くあり、空気のいい場所に住むことが●だったので、いい機会だと思いい、日野市には戻らないでしょう。
- ・ 夫の退職後に郷里へ戻る予定である(2~3年後)。
- ・ この市が好きでないから。
- ・ 将来実家がある大阪府に戻るため。
- ・ 出身地に定住。
- ・ 新居を建てる予定で、日野市ではないからです。
- ・ もともと老後は郷里に戻る予定であったため。
- ・ 日野を永住地として考えていない。
- ・ 息子と同居予定。

■他の場所でも生活が可能だから

- ・ 日野市に戻る必然性が全くない。
- ・ 日野に絶対に戻らないといけない理由が2~3年経った後には、明確に存在しないため。
- ・ 戻る理由がない。
- ・ 長期に避難をする(すなわち、現住居は空屋)場合、そして再び長期の空屋へ戻るには、それ相当の費用(修理など)が必要となる。又移動の費用(引越しの費用も含めて)も必要となる。これらの費用を考えると再び、現住所に戻る事はないだろう。
- ・ 現在の仕事を続ける場合、他の場所へ転勤する。
- ・ ここに住む理由がない。
- ・ 現在実家暮らしだが、家を出て一人暮らしをする予定のため。
- ・ 日野市にこだわりはないため。
- ・ 東京には戻るかも知れないが、必ずしも日野市ではないと思う。
- ・ 居住可能な状態になっていたとしても、この地域において生活するより安定した状態の地域を選ぶ。
- ・ 生活するうえで、日野市に絶対住まなくてはならない理由はないため。
- ・ 長く住んだわけではなく、愛着もない。その時点での生活に適した所を選ぶと思う。
- ・ 息子のところ(東海地方)へ転居します。
- ・ 勤務先が変わってしまうため。

- ・ 日野市に戻らなければならないという積極的な理由がないため。
- ・ 日野市には仕事の都合で住んでいるので、あまりこだわりはない。
- ・ 仕事の存続が第 1 条件として戻るのも、仕事に通える範囲内であれば日野市にこだわりはない。
- ・ 日野市に住まなくてはいけないというこだわり等がないから。
- ・ 特別、日野市に思い入れがあるわけではないので特にこだわりがないため。
- ・ 持ち家に戻れないのであれば日野市にこだわる理由は特にない。
- ・ 新たな人生を見つけないから。年齢を考えれば違った人生もと…。
- ・ 現在、日野市に住む理由が、職場から近く家賃が安いというだけなので、条件がよければどこでもよく、日野市にそれほどのこだわりはないため。
- ・ 戻らなければならない理由がない。
- ・ 住居はあるが他で仕事などの生活がととのえば日野市にこだわる理由がない。
- ・ 生まれ育った場所でもなく、仮に避難生活が長期にわたるとしたなら戻らないと思う。だいたい根がジプシー生活が好きで持ち家を持ってどっかと根を張れない性格です。
- ・ 現在の職場に近い事、都心へ出やすい事が日野市に引っ越す理由であったので、環境が変化したら、それに合わせ住む場所も変わる事になると思うから。
- ・ 健康状態にもよるが、より静かな場所の方がよい。年齢的にも、体力的にも戻るのは大変。
- ・ もともと小さい頃は八王子市で育ったので大人になってから日野市にきたのでそれほど日野市にはこだわっていません。
- ・ 現在日野市外へ通勤通学をする際に自転車を利用する場合、駐輪場不足が深刻なため。また、電車の利便は八王子の方がよく、日野の駅の利便があまりよくないため。市外への通勤通学を考えた場合、わざわざ日野市を選択し直すメリットが薄いので、避難終了後に戻る可能性は高くない。
- ・ 就学を迎えたときに日野に住んでいたのだから
- ・ 子どもの義務教育終了すれば日野市にいる理由なし（ただ子どもにとっては故郷だが）。何が何でも日野市に戻る程の思い入れはない。
- ・ 2〜3年では仕事を変えている可能性が高い。仕事のある所で生きていく。
- ・ 会社を引退したら、温泉のある土地に住んでみたいと思っていたので、家を再建するのをやめて、温泉地に移住することにすると思う。
- ・ 今回の地震で被害のあった地元は現在も海岸ぞいの家は当時のままだったりするので、避難が終了したからといって前のような生活には戻れないのかなと思うと、違う土地に移りたくなると思う（日野は生まれ育った場所ではないので…）。
- ・ 子どもたちは、その間、成人となり 学校の心配はしなくてもよい状態であり、再び引っ越すとなると大変である。
- ・ 職場が町田市であるから。
- ・ また東京へ出てくるかわからない。出てきたとしても日野市を選ぶかはわからない。
- ・ 日野市より住みよい所を探さうと思う。
- ・ 他場所で自営業を営むのであれば戻らない。他場所で勤務をするのであっても、そこ

で勤務を続けていくと思う。

- ・ 特に戻る理由がないため。
- ・ 家の状況によると思いますが日野市に対するこだわりはありません。
- ・ 現在日野市より1時間30分程度の通勤時間を要する職場である。よって、もう少し短時間で通勤できる場所を選択すると思う。
- ・ おそらく八王子の会社をやめているので戻る理由がない。

■持ち家ではないため

- ・ 現在の住居が都営住宅となるため、同等の条件であれば、地域はこだわらない。
- ・ 住まいも倒壊してしまっているし、持ち家ではないので別な場所に賃貸で住むようにする。
- ・ 賃貸住宅のため、被害のない場所へ引越しをする可能性が高い。
- ・ 現在が賃貸住宅に住んでおり、その時の自己の資産や仕事、家族の状況により流動的になると考えられるから。
- ・ マンション住まいなので別に他に移ってもかまわない。
- ・ 賃貸住宅に居住で持家ではない。仕事も国内各地への転勤が多いため2〜3年後の勤務地の近くに居住すると思う。
- ・ 持ち家ではないので戻る必要はない。
- ・ 今現在、住んでいるのは、借家住まいなので。
- ・ 賃貸住宅のため。
- ・ 持ち家ではないから。
- ・ 持ち家でないため。

■避難先での生活への慣れ、定着、仕事

- ・ 住みやすいと思えるほど市に密着した生き方をしていない。長期避難したらおそらくその場所へ移り住む。
- ・ 避難先周辺で生活基盤を早期にみつけない。
- ・ 2〜3年という長期間避難した場合、避難先の生活に慣れて、戻らないような気がする。
- ・ 長期避難先での生活が確立していれば、年齢的に、また戻って生活を作り直すのはむしろかしいと思うので。
- ・ 避難先で仕事をしていると思うのでそのまま住みつくであろうと思う。子どもは独立しているため、特に戻る必要はない。
- ・ 避難先で、新しい生活をしていくと思う。
- ・ 避難先で、生活が安定していれば戻れないと思う。
- ・ 実家にそのまま滞在したくなるだろうため。
- ・ 2〜3年他の地で生活したら、日野へ戻る必要がないと思うから。
- ・ 新しく見つけた仕事先の近くに住むことを優先する。仮に避難先で職を得た場合は、その地で生活を送ると考えている。
- ・ 避難先へ住むと思うが復旧の程度による。

- ・ 夫の仕事を先も変わり、自分の実家または愛知県で生活してると思うから。
- ・ 不動産を所有している訳ではなく、また親戚がいるわけでもないため、日野市にこだわる理由がありません。また、2～3年の長期避難を行った場合、避難先に収入の基盤が築けていたら、そこを新たな本拠地とすると思います。
- ・ 長期避難先で生活の基盤ができるため。
- ・ 2～3年生活したら、そこで生活すると思います。
- ・ ふるさとへ避難するつもりなので多分、そのままになるだろうと思う。
- ・ 11-1で1へ行き、現年齢から2～3年経ったら、定年の年齢に近い。もし、1の場所で仕事をしていたらもちろん、戻らない。仕事のために戻ることも考えられない。
- ・ 2、3年経てば、そこでの生活が安定してくる頃だと思う。またその生活を離れ、日野に戻るのは、家族にとっても、また資金的にもストレスになるのではないかと思うので。
- ・ 新しい場所での生活基盤ができてしまうから。家を再建できる経済的余裕がない。
- ・ 新しい人生を考えると（単身であり、親戚などの地へ避難するため）。
- ・ 避難先で再就職していると想定するので、そちらでの生活を続けると思います。
- ・ 自分の実家に戻ることになり、両親の介護で戻れないと思う。
- ・ 元々住んでいたアパートがどうなっているかわからないし、実家が日野にあるわけでもないで、新しい土地で生活を始めたならそこで住み続けると思う。
- ・ 2～3年経てば、避難先の土地にも慣れていくと思うので、絶対に日野でなければという思いもないです。
- ・ 2～3年も、そこで生活しているのなら、定住を決めていると思う。単身の気楽さで、元気ならば、どこに住んでもよいと思っているから。日野市に戻る必要はないのです。避難している近くに家を買う。

■家族親族、友人知人等とのつながり

- ・ 災害発生の有無に係わらず将来的には子どものそばにすることが理想と考えている。
- ・ 実家の近くで生活の基盤を作ると思われるため（地価が安い、上記が行いやすい）。
- ・ 両親が東京に住んでいるため、両親の老後のことを考えて、同居、もしくは実家の近くに家を借りようと思っている。
- ・ 九州の実家に戻る道を選ぶ。
- ・ 熊本に高齢の両親がいるため。
- ・ 実家に戻ると思います。
- ・ 親族はだれもいないので。
- ・ 両親が心配だから。実家の近くに住みたい。
- ・ 現在1人暮らしのため、実家に戻る可能性が高いと思う。
- ・ 郷里の親族の近くに居住するかと思われる。
- ・ 家族が世田谷に土地を所有しているので。
- ・ 現在夫の転勤で日野市に住んでおり、そのような災害があった場合、また夫の転勤が考えられるため。
- ・ 近くの市に実家があるので、そちらへ。

- ・ そのまま九州に残ると思われるから。

■生活再建の困難

- ・ 年齢もいっているし もしそうなっても、戻って来て住む事はできないと思います。
- ・ 経済的理由。
- ・ 現在 60 才以上の年齢であり、子どもたちも成人で度重なる住居の移動には耐えられないだろうと考えるため。
- ・ 生活基盤がなくなる。
- ・ 年齢的に。
- ・ 高齢のため家を新しく建てることは無理だと思いますので。
- ・ 丘陵地なので再建は無理です。
- ・ 復旧が無理であれば、また家を建ててローンであらたに契約する余裕はおそらくないのであろう。ただ子どもの学校問題が、まだからむ年齢であればそれはまた考えることになると思う。実際、実家に帰省しても老いた親がいて、現在年に何度も帰省しているので、災害が起きて住むには時間がかかると思えばいい機会だと思うかもしれない。
- ・ 家屋の損壊状況にもよるが、修復が難しい時は戻らない可能性が大きい。
- ・ 高齢のため。
- ・ 家を建てなおすのは、年齢的に無理と思われ、配偶者は働いておらず、職場の心配もないので、昔、生まれ育ったところで暮らしたいと思います。子ども、兄弟もその他にいたので、おそらく戻らないと思います。
- ・ 長期避難が必要な程度の場合、日野自動車からの出火、爆発が想定される。その場合、日野台、多摩平（北部）は延焼し、家屋が全く残っていないと思う。東京で家で再建するよりも、土地を売却しその時点で居住している場所で生活した方が負担が少ない。
- ・ 被災状況によるが、インフラの整っていない地域での生活は厳しいため。
- ・ 家を建てる金なし。
- ・ 家が倒壊したら、再建出来ないと思うので。
- ・ その時の状況にもよるが、2~3年離れていたとすると、家屋は倒壊しているだろうし、新しい土地での生活が落ちついて慣れてくるはずなので。
- ・ 年齢で無理。
- ・ 避難の時期がいつになるかにより、相当違うと思うが戻れなくなる可能性が高いと思う（一人でしっかり生活できていくとは考えにくい）。
- ・ 日野市行政に期待できない。住み始めた頃は多摩地域で優れた福祉地域だったが今は劣る。大手企業が転出していくし、店もシャッターを降ろしている。金がないと市は言うが、このままでは益々（税が）減収するだろう。当然災害後は、生活環境は今より悪化する。
- ・ 高齢のため。
- ・ 仕事と持ち家を維持できるか、不明で2~3年だと、それが維持できそうにない。
- ・ 日野市では戻る場所や住居の手当は、きっと行わず、そのままに「何もせず」に行政は知らんぷりする。
- ・ 交通の便がよくない。

■防災、安全上の理由から

- ・ 現在、高台に住んでいるので、災害が発生した場合、どのようになるのか想像がつきませんが、平地を探すと思います。

■復興の状況、自分の状況によって判断する

- ・ 地元ではないので。しかし、現在働いている場所が日野市なので、その時にならないとわかりません。
- ・ 土地があっても新しく家を建てるのは大変なので家がそのまま使用できるのであれば戻るかもしれません。
- ・ その時に家族で一番都合のよい所に住むと思います。仕事のこと子どものことをよく考え転居もふくめて考えますが日野市にこだわるつもりはないです…。
- ・ 娘や息子との相談次第。
- ・ 立川断層の状況で判断したいと思っているから。
- ・ 高齢のため、長期避難生活が続く場合、健康面等、どのようになっているのか想定が難しい。しかし、避難先の状況はもっとわからないので、住み慣れた日野市で最後を迎えたいと思う。
- ・ 現在住んでいる家の被害状況による。
- ・ 土地や家を持っているので戻りたいとは思いますが、避難先での生活・仕事が落ち着いていたらその時戻るかはわからない。
- ・ 持ち家ではなく団地住まいのため、現状回復できるのか不明です（団地は40年以上の築年数を越えている）。
- ・ 長期避難の状況であると考えたと今後も暮らせる状況にないと思われるため、現状の状況に戻っている場合は戻ってきたい（希望）。
- ・ 持家が住めるのかどうかで判断。
- ・ 日野市にもういません。

■その他

- ・ 勤務先が変わっていると思う。
- ・ ？
- ・ 状況によるので、この設問では判断できない。
- ・ 日野市という土地に希望を持っていないから。
- ・ 日野市以外で就職をしているかもしれないから。
- ・ 坂が多いので高齢になってきたためあまり帰りたくない。
- ・ それまでには彼氏を見つけて同棲したい。
- ・ 2人とも高齢なので有料老人ホーム希望。
- ・ その時にならないとわからない。
- ・ 日野市の区割整理（2～30年待っているが実行ならず）もあるし、命の問題もある。独居生活不安要素はあるが、どうにかなるものである。
- ・ 転勤があるだろうから。

- ・ 会社移転のため。
- ・ 顔見知りがいなくなりまわりの人がよそ者だけになってしまったので。

無回答（選択肢のいずれも非選択）

- ・ 健康上問題なければ。日野は生活の場として選択している。被害があり、会社がどうなるのか、にもよる。東京での営業が出来ないようなら、生活の場を移す必要がある。そのシチュエーションによって大きく異なる。→賃貸であるので、今の住居が絶対ではないので。
- ・ 長期避難が終了した時点の状況による。その時点で見えて判断する。
- ・ 不明（自宅の災害程度による）。
- ・ 年齢的に長期避難に耐えられるか。
- ・ その場にならないと、何とも言えません。
- ・ 生活していく場所にこだわりはない。
- ・ わかりません。仕事が現役か退職後かにもよりますし、今の住宅が住める状態かどうかによって判断します。
- ・ 問 12-9 に続き、避難先で十分な収入が得られるようになったら戻る必要性が薄れる。戻った方が生活が楽になるようなら戻るだろう。あくまでも条件付きなので問 13 には答えられない。
- ・ 全く分からない、どこに住むかは。
- ・ その時の状況がどうなっているかで変わってくると思う
- ・ 年齢や健康面の事、仕事面など大変な事が多くなってくると思う。今現在思う事は地震ばかりでなく自然災害などの被害など少ない事を祈る。
- ・ わからない。
- ・ 夫婦ともに高齢です（夫 82 才、妻 78 才）。夫の病気（生命に関して判断がつかません）と私自身の目下六年を経過しました突発性の動脈瘤破裂によるくも膜下出血による脳出血のケアの継続につままして二人の状況がどんな現状で続きますか…。二人でできますことの中で判断するつもりでいます。